

## 平成29年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	丸山孝幸
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	245-1770
<b>事務事業名</b>	4234 動物園管理運営事業										
<b>所 属</b>	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
<b>施 策</b>	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費									
	<b>事業</b>	030000 動物園管理運営事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
来園者に親しまれるとともに市民の憩いの場となる動物園にする。						動物の展示方法の工夫、様々なイベントの実施、園内でゆっくりとくつろげる空間づくり等を行い、「いやし」を提供して入園者増を図る。					

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
入園者：156,913人	入園者：136,576人
平成29年度 予定	平成30年度 予定
入園者：150,000人	入園者：150,000人
平成31年度 予定	平成32年度 予定
入園者：150,000人	入園者：150,000人

指標名	須坂市動物園入園者数				
算式	年間入園者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	160,000	150,000	150,000	150,000
	実績	136,576			
指標選定の理由	須坂市動物園の特徴である「ふれあい」と「いやし」を充実することにより、入園者増を図る。				
最終年度目標の根拠	過去の実績を基に算定。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		52,287	55,438
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	20,969	20,509
一般財源		31,318	34,929
人員数(人)	正規職員	5.9	5.9
	嘱託職員	3.4	3.4
	臨時職員	7.3	7.3
人員コスト	正規職員	42,592.1	42,592.1
	嘱託職員	9,367.0	9,367.0
	臨時職員	8,343.9	8,343.9
	計	60,303.0	60,303.0
市民一人当たりの経費		2.2	2.2
総額		112,590.0	115,741.0

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	257	写生大会審査員謝礼等
11節 需用費	16,942	光熱水費等
13節 委託費	2,816	機械警備委託等
15節 工事請負費	1,146	トーテムポール設置
19節 負担金補助及び交付金	302	会議等出席負担金
その他	30,824	嘱託職員報酬・臨時職員賃金ほか

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	273	写生大会審査員謝礼等
11節 需用費	18,750	光熱水費等
13節 委託費	3,713	機械警備委託等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	312	会議等出席負担金
その他	32,390	嘱託職員報酬・臨時職員賃金ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	幼稚・保育園児及び小・中学生への生き物に対する学びの場所や「いやし・ふれあい」を行うことで、心と体の健康を作り出す「アニマルセラピー」の現場を担っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	平成24～27年度と15～16万人を超える入園者があったが、平成28年度の入園者数は、目標値の16万人を下回る結果となった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	正規職員を嘱託職員にして人件費の削減に努めている。 しかし、施設全体の老朽化による、修繕費用等の維持管理費用の増額が懸念される。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

イベント内容の工夫と展示動物の充実を図るなど、魅力向上に努める。  
 また、ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック、ライン、情報誌等での情報発信に努めた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
こまめな情報発信とイベント内容の充実により、リピーターの確保や入園者の増につなげていく。		動物園の魅力向上のため、展示方法の工夫、様々なイベントの実施等工夫を凝らし、園内でゆっくりとくつろげる空間づくり等を行う。また維持管理も適切に行っていく。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	